

「未来センター会議」 第1回ワークショップ開催！

8月19日(土)、「未来センター会議」第1回ワークショップが開催されました。

会議では、鹿児島県で地域おこしの実践をしている永山由高氏からの講話の後、町民と役員職員ら63人によりワークショップを行いました。

ワークショップでは多くの意見に触れることができるワールドカフェ方式を取り入れ、「揖斐川町の魅力や課題」と「揖斐川町の未来像」をテーマに多くの意見が出されました。

6月のキックオフシンポジウム以降、町民と役員職員で構成する企画運営ワーキンググループにより準備を重ね、当日はホストなどを行い、意見のとりまとめを行いました。



▲ワークショップはじまります

この意見については、第2回以降の話し合いに向けて整理を行い、よい取り組みにつなげていくよう検討していきます。



▲揖斐川町について語り合う



▲各グループの意見

小学生県外派遣事業（北海道芽室町・高知県宿毛市）
土地や文化、産業の違いを学ぶ

8月18日(金)から22日(火)まで、町内の小学校6年生20人が県外派遣研修で北海道芽室町と高知県宿毛市を訪問しました。

児童らは、親元を離れて現地の小学校との交流やそれぞれの土地の文化や産業に触れ、貴重な経験をしました。

芽室町では、ホームステイ先農家の協力もあり、トウモロコシの収穫など十勝平野の大規模な農業体験ができました。

宿毛市では、海でかご漁を体験し、とれたての魚を自分でさばいて味わい、シノーケリングなどとして、岐阜県にはない海を学びました。

研修を終えた児童らは、自信に満ちあふれた目をして、体験や研修の成果について話しました。



▲意気込みを語る出発式



▲魚のさばき方を学ぶ



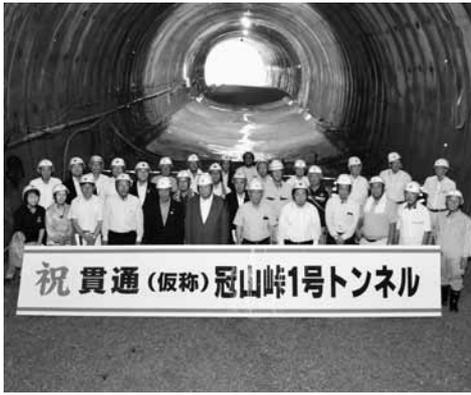
▲芽室町発祥ゲートボール体験

（仮称）冠山峠1号トンネル
貫通現場視察会

揖斐川町と福井県池田町を結ぶ一般国道417号「冠山峠道路」のうち、揖斐川町側の（仮称）冠山峠1号トンネル」の貫通現場視察会が、8月10日（木）に揖斐川町塚奥山地区で行われ、国土交通省近畿地方整備局や両県の関係者約70人が参加しました。

今回貫通した1号トンネルは、全長1.2kmでトンネル貫通後には、トンネル覆工や排水設備などの工事を進め、平成30年3月にはトンネル本体の工事が完了する予定です。

当該道路の全線開通の時期は未定ですが、開通すれば揖斐川町と福井県池田町の区間が、約1時間10分の短縮となることや、大規模災害時に緊急避難や救援物資輸送などの広域的な代替路として機能し、現在、建設が進んでいる「東海環状自動車道」を介して、日本海側と太平洋側を結ぶ緊急避難路にもなることから、近隣市町の期待や関心は高まっています。



▲関係者による現場視察

郵便局との協定を締結

8月4日（金）、揖斐川町と日本郵便株式会社は「災害発生時における揖斐川町と揖斐川町内郵便局の協力に関する協定」並びに「地域における協力に関する協定」を締結しました。

災害発生時における協力に関する協定は、地震などの災害時に、被災者が差し出す郵便物の料金免除など相互に協力して必要な対応を円滑に行うことなどが定められています。

地域における協力に関する協定は、郵便局員が業務中、地域住民の異変に気付いた時や、道路の損壊などを発見した場合、関係機関への情報提供や通報することなどが定められています。

締結式で富田町長は「災害発生時の協力体制を築き、地域における協力に関する協定を結んだことは、町の防災力向上につながり非常に心強く思う」と話しました。



▲災害時の協力体制を確認

中学生議会
豊かな町へ向けた提言

8月28日（月）揖斐川町役場議場で、中学生議会が行われ、町内の4校の代表19人が町政について提言を行いました。

第1部は「学校の誇りに関わる提言」として、日常生活の向上を目指した日々の取り組みが発表されました。

第2部は「誇りある揖斐川町をより発展させるための提言」として、中学生ならではの活発な提言が行われ、町政への関心の高さが見られました。

答弁をした富田町長は「町の今と未来を思う心をうれしく頼もしく思います。今日の提言を踏まえて、第2次総合計画を推進したい」とくりました。

議長を務めた揖斐川中学校3年生の高橋拓海さんは議会を振り返り、「5年後10年後も住みたい町になるよう、これからも地域に貢献していきたい」と話しました。



▲中学生議員による提言

災害から命を守る
揖斐川町総合防災訓練

8月27日（日）、大地震を想定した揖斐川町総合防災訓練が、大和小学校を主会場として行われました。

訓練は、静岡県駿河湾と紀伊半島南東沖をそれぞれ震源とする地震が連続で発生したことを想定したもので、町全域で約1万人が地域の集会場等に避難するなど訓練に参加しました。

主会場では、電気・水・ガス・道路・通信などの関係機関による復旧訓練や、女性防火クラブや大和小学校少年消防クラブによる水消火器を使った初期消火訓練、日本赤十字奉仕団による炊き出し、災害救助犬による人命救助訓練、災害救援ボランティアによる負傷者搬送訓練など、さまざまな訓練が行われ、地域が一体となって災害時の体制や連携を確認し、防災意識を高めました。



▲女性防火クラブ、少年消防クラブ

叙勲を受章されました

旭日双光章
中井 孝爾 さん(坂内広瀬)

中井さんは、昭和42年4月から6期24年の永きにわたり、旧坂内村議会議員として在職され、昭和58年4月から2年間は議長、昭和56年4月から2年間は副議長として、議会の円滑な運営に尽力されました。また、農業の近代化に向けた農業振興や同村の将来を見据えた観光振興の推進、社会教育の振興などにも多大な貢献をされました。これらの功績が認められ、今回の叙勲の受章となりました。



▲富田町長が叙勲を伝達しました

岐阜県消防操法大会

8月6日(日)、瑞穂市中山道大月多目的広場で「消防感謝祭」第66回岐阜県消防操法大会が開催されました。

大会には、揖斐郡の代表として揖斐川町消防団揖斐分団がポンプ車の部に出場し、県内の消防団から各地区の大会などで選ばれた30隊180人が6人1組の「ポンプ車操法」で、的を倒すまでの時間や操作、規律の正確さを競いました。応援に駆け付けた消防団員や家族らの声援を受けて、訓練の成果を發揮し、レベルの高い操法を披露しました。



▲揖斐川町消防団揖斐分団によるポンプ車操法

揖斐川町保健推進員研修会および町民特別講座を開催しました

8月22日(火)、地域交流センターはなももで、保健推進員研修会および町民特別講座が開催され、97人が参加しました。

講師には、岐阜大学附属病院看護師の林賢二さんを迎え、「救急救命の現状と自分達にもできる対処方法」大切な命を守るために必要なこと」をテーマにご講演をいただきました。揖斐川町におけるAED設置状況について説明され、各自が一度、AED設置場所を確認しておくことよいことを話されました。

その後、映像を流しながら、胸骨圧迫法やAED使用方法の練習を全員で実施しました。実際の現場で心肺蘇生ができるかとの質問に対し、研修前はできるといの方はいみせんでしたが、終了後は、全員の方ができると答える姿がみられました。



▲講座に耳を傾ける参加者ら

水道施設を美しく「清掃奉仕作業」

8月23日(水)、揖斐川町内の水道工事店15社が、町内の水道施設の清掃奉仕作業を行いました。

毎年行われているこの奉仕作業、この日は15人が参加して早朝からお昼まで、水道施設やその周辺の草刈を行いました。あいにくの雨でしたが、皆さんの協力によって施設周辺は美しくなりました。

清掃奉仕活動に参加された皆さんありがとうございました。



▲配水池周辺の清掃のようす

日本生物学オリンピック

8月18日(金)、揖斐川町役場で日本生物学オリンピックの本選に参加される大垣東高校2年生の荒井恵輔さんの激励が行われました。

日本生物学オリンピックは、高校生などの青少年を主な対象として、生物学の面白さや楽しさを体験してもらうことを目的に全国規模で開催されています。

今年の予選は全国1000の会場で行われ、4000人を超える出場者が筆記試験に臨みました。

荒井さんは、上位80人の中に入り、東広島市で開催される本選に出場されます。本選の成績優秀者は日本代表を決める代表選抜試験に進むことができます。

荒井さんは「日本代表を目指して頑張りたい。また、生物が好きな人と関われることを楽しみにしています」と話しました。



▲町長から激励を受ける荒井さん

少年の主張岐阜県大会で受賞 くわたしの主張2017

8月8日(火)に、中津川市東美濃ふれあいセンターで開催された「第39回少年の主張岐阜県大会」くわたしの主張2017」において、西濃地区代表として出場し、優秀賞を受賞された西濃学園中学校3年生の中村瑠李さんが、9月1日(金)揖斐川町役場に受賞の報告に訪れました。

大会において、「私はわたしでいいじゃない」そう胸を張って生きていきたいと堂々と発表されました。

富田町長は、「受賞おめでとう」と受賞を称えました。今回の活躍が地域や学校の活力となり、将来、中村さんの力になるでしょう。



▲町長へ報告に訪れた中村さん

揖斐川 伝統芸能フェスティバル

8月26日(土)、地域交流センターはなももで伝統芸能フェスティバルが開催されました。

町の伝統文化に理解を深め、継承につなげるために毎年開催されています。

第1部は、いび祭り子ども歌舞伎義太夫教室による義太夫と三味線の披露で力強い声色が響きました。

第2部は、町内の7つの太鼓踊り保存会による太鼓踊りの披露で、それぞれが異なる特徴を出していました。

第3部では、北方神社で古くから奉納されてきた、ねそねそ祭り「田遊び」が披露されました。苗代打ちから刈り入れまでの祭事を住民が熱演し、訪れた人たちは見入っていました。



▲下ヶ流太鼓踊り保存会による太鼓踊り

お十七夜コンサート 軽快なフォークソングを楽しむ

8月17日(木)、谷汲サンサンホールで「お十七夜コンサート」が開催されました。

参道の商店主らでつくる谷汲門前街並づくり委員会が、町や参道の賑わいを取り戻そうと始めたこのイベントは、今回で12回目を迎えました。

今回の出演者であるフォーエネレーションズは、バンジョー・マンドリン・ベース・ギターの4人で構成されているバンドで、ブルースやフォークソングなどを中心に活動しています。

この日はあいにくの空模様で屋内での演奏となりましたが、軽快なフォークソングや、ヒット曲をブルース調にアレンジした演奏は、観客を大いに盛り上げました。



▲お十七夜に陽気な音楽が響く